

防災、福祉、中小業者、農漁業 市民のみんなに優しい市政こそ私の願い



秘密保護法に反対してデモ行進の先頭を歩く

村上かずしげの4つ約束

効果のない大型開発頼みをやめて、中小業者、石炭、農漁業の支援します。
住宅リフォーム事業を継続し、新たに「商店版リフォーム事業」をつくります。
TPP交渉からの撤退を求め、農漁業を守ります。

「福祉の増進」こそ地方自治体の一番の仕事。
要支援の介護保険はずしが強行されても、市の独自努力で、今のサービスを守ります。特養を100床増やします。
こどもの医療費を中学校卒業まで無料にします。
高すぎる国保料を1万円引き下げます。

平和こそすべての土台、釧路市を平和の発信拠点に。
被爆70年、釧路空襲70年の今年を「釧路平和年」とし
平和の取り組みを抜本的に強化します。
集团的自衛権行使に反対し、憲法9条を守ります。

「市民の知恵」を総結集して、福祉と教育を守りながら財政再建を。
減債基金30億円を活用し、市民負担を軽減し福祉灯油を実施します。
一部企業を優遇した不公平な税制と上下水道料金の格差を是正します。
身の丈を超える西港の拡張工事、鉄道高架は根本から見直します。



暴走 迷走 を繰り返す 蝦名市政

ほとんどの国民が反対しているカジノの誘致を熱心にすすめ、新しい図書館は民間の間借りで済ませる。・・・だれが聞いても首をかしげる今の市政ですが、唯一ハッキリしているのは、国際バルク戦略港湾や鉄道高架などの大型開発に、財政も顧みず巨費を投じる「時代遅れ」のやり方です。そのために福祉や教育はバツサリ。ぬくもり助成金も敬老祝い金もやめました。市長には「福祉の心」はありません。

それを支えてきたのがオール与党議会。福祉切り捨てはもちろんのこと、フィットネスセンターの廃止も最後は強行してしまいました。でも、そんな与

党の間にも「きしみ」が目立ち始めました。新図書館の民間への間借りには、与党会派からも疑問の声が出されています。図書館問題などの市民運動が議会を変え始めているのです。

市民運動と手をたずさえて、議会内外で活動しているのが私たち共産党議員団です。ぜひ共産党を伸ばしてください。



村上かずしげのちょっと聞いてほしい 3つの話

初質問は鶴野の雨水対策

議会に初めて出していただいた直後の最初の議会質問は、鶴野や星が浦の大雨対策でした。選挙中に聞いた、「大雨のたびに通行止め」「玄関まで水が入ってくる」という話が忘れられません。以来、何度となくこの問題を取り上げてきました。ネックとなっていた星が浦川の河川改修が見えてきました。もうひとがんばりです。



大津波でふる里はいま



郷里は岩手県の陸前高田市。両親は難を逃れましたが、多くの親戚、友人が震災の津波の犠牲になりました。災害をなくすことはできないけれど、犠牲者は何としてもなくしたい。私が防災について、くり返し議会で質問する理由です。

福島原発の被害も心配です。道東に放射能のゴミの処分場をつくることには絶対反対です。

父子家庭をしています

娘が3歳の時に妻は急死。以来ずっとシングルファーザーをしています。「再婚したら」と議会で言われたこともありましたが、（笑）

だから、母子家庭の苦労は他人ごとではありません。子どもの貧困大国日本。政治の根本が間違っているとしか思えません。子どもの福祉と教育にこそ、しっかりお金を使うべきです。

